

平成21年度主催事業

訪ねて語ろう自然と文化

平成 21 年 10 月 17 日（土）～18 日（日） 開催

赤とんぼ達が空を舞い踊り、夕暮れがきれいに見える秋、鴨川青年の家 3 回目の主催事業を開催しました。今回は 7 家族 21 名と少人数の参加でしたが、その分濃い内容となりました。



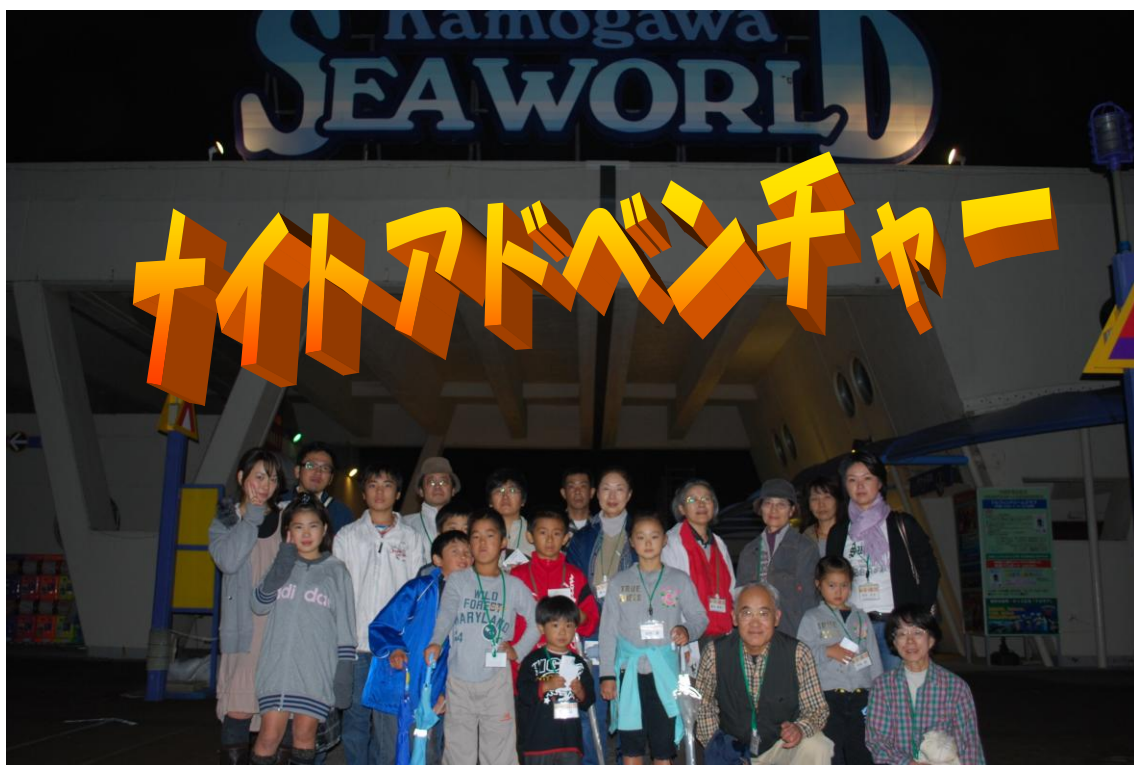
各自思い思いの柄の和紙を選び、慎重にのり付けをし、うちわの骨が均等になるように真剣な眼差しの作業が続きました。うちわのへりに細くきった和紙を偏らないように付けるのが難しく、親子で協力しながら作業に取り組んでいました。「職人になるとテレビを

一日目は「房州うちわ作り体験」。房州うちわとは千葉県指定伝統的工芸品で、日本三大うちわの一つです。「うちわ工房 和」の三平和子さんを講師に迎え、24 工程ほどある製造方法の内 3 工程を体験させていただきました。



見ながらできてしまうんですよ。」と、教えてくださったのは和子さんの娘さんです。「100 個ほど並んだうちわの中に何種類あるのか当ててみましょう。」などと楽しいクイズも出させていただきました。でき上がったうちわはどれも立派で扇ぐと「風がいつもと違う気がする」と好評でした。

夜には鴨川シーワールドにて「ナイトアドベンチャー」を行いました。普段は見られない夜の海獣や魚たちをガイド付きで楽しみました。「水槽の明かりがついたままになっているのは、①大きな魚が小魚を食べないため。②寿命を長くするため。どちらでしょう？」とクイズ形式で教えてもらえ、子どもも大人もなるほどと感心しきりでした。寄り添って寝るアシカには「僕たち親子と一緒にだね。」とほほえましい様子も見られました。



二日目は「鴨川探訪」。天気も良く、昔ながらの漁師町を肌で感じる下町歩きです。普段は車で通り過ぎてしまう景色も歩いて見ると違って見え、細道に入れば洞窟や神社などちょっとした冒険者気分となりました。



仁右衛門島を通り過ぎて到着した「太海フラワーセンター」では、いろんな植物や動物とのふれあい、釣り堀では大物の鯛を釣り上げた子どもが2人もいました。所員

もチャレンジしましたが惨敗でした(涙)。クラフト体験コーナーでは前日に作った房州うちわに押し花を貼り付けました。花で顔をかたどってみたり、色合いを考えたりと世界で一つだけのオリジナル房州うちわが完成しました。

フラワーセンターからのお花のお土産や海の香りと思い出と秋の彩りが増えた主催事業となりました。

皆様のまたのご参加をお待ちしております。

2009年10月吉日 福山

